

西浦義務教育学校開校準備委員会(第2回)議事要旨

- 日時 令和5年9月27日(水)午後2時から午後4時
- 場所 西浦小学校 多目的3
- 参加者 小澤委員、戒田委員、壁谷亮委員、壁谷宜委員、水野委員
尾崎順委員、小笠原委員、鈴木委員、岡田委員、林委員
横田委員、尾崎江委員、石川委員、壁谷宣委員、伊藤委員
その他事務局職員

1 あいさつ

(委員長)

なかなか暑さが和らがない今日この頃。感染症も猛威を振るっている中で学級閉鎖の学校もある。健康には十分留意していただきたい。

今日はこれまでの歩みを確かめながら、忌憚のないご意見をいただきたい。

2 協議

(1)報告事項について

①事務局

前回の委員会から変更した点について説明。通信の全戸配布は、義務教育学校の報告や中学1年生からの質問などを掲載した。学校運営協議会の委員での熟議については戒田校長より報告する。資料2-1には会議の流れを整理したので流れに沿って会を進めていきたい。資料2-2は、誰が決定するか分かりづらいという意見を参考に、工程表に追加した。役割分担も一部変更した。「施設備品」は事務局に変更した。「グランドデザイン」もカリキュラム部会から小中校長を中心に役員会で決定していくこととした。「生徒会」は生活部会からカリキュラム部会に変更した。

②コミュニティ部会

PTA組織について、7月8日に小中PTA役員で小中学校のPTAや組織移行、各行事の精選、役員の選定方法など話し合った。次回12月9日には新しいPTAの規約について提案する予定である。コミュニティ部会は今後、校章の募集や選定方法、校歌を誰に依頼するか、どんな校歌にしたいかなど情報収集を行う予定である。

③カリキュラム部会

生徒会・児童会については、1年生から9年生まであり、執行部や委員会などについて10月2日の小中合同会議で意見を出し合いたい。学校行事については、来年度の運動会を中学校の運動場で合同開催することを話

した。

学年区分についてはグランドデザインに照らし合わせて今後検討していきたい。10月2日で話し合った内容については11月15日の役員会を経て第3回目の準備委員会で提案させていただきたい。

④生活部会

制服については市制服検討委員会の方針に基づき西浦地区も考えていく。体操服は小中一緒にするか、今の体操服をそのまま引き継ぐのか、新しくフルモデルチェンジするのかを含めて検討していく。教職員だけでなく、生徒、保護者、場合によっては地域の方々も含めてアンケートの実施を考え、決めていきたい。

部活動について、今後の児童生徒数を参考に考えていく。義務教育学校の部活の在り方については人数のこと、新しい施設での部活動の活動場所等のことも考えて原案を作成し、決めていこうと思う。

生活の在り方について、西浦中では校則について子供達と話し合い見直しをしている。生活の在り方の策定方法の検討について課題を洗い出し、考えていきたい。

生活部会の検討事項は生徒や保護者に直接関わる内容あり、地域の理解を得られるとより良いと考え、広く意見を聞きながら進めていきたい。

(各委員からの意見、質問等)

【委員】今回初めて出席するため、そもそもこの学校を新しくする理由や経緯について確認したい。「適正規模でかつ西浦の良さを生かしたつながりのある施設」と書いてあるが、具体的に何かあるのか。また、各部会からの報告について、「これからこういう学校に生まれ変わる」というのを念頭に置いて、「今までこうだったからこう」というのではなく考えてほしい。

【事務局】現在小学校、中学校、公民館が近くにあるが、それが一つとなることで学校と地域の方もつながりが増えていくという考えである。西浦地区は昨年度から学校運営協議会が始まり、コミュニティ・スクールとして地域も一緒に子供達を育てていくことについて検討する場所がある。

(2) 校名募集要項について (コミュニティ部会)

資料の内容について説明。応募資格について特に議論をお願いしたい。

(各委員からの意見、質問等)

- 【委員】在勤まで含めるならもっとフリーにしても良いのでは。西浦出身の方、子供達を通わせる方達の想いを取り入れたほうが良いと思う。
- 【委員】「在住」の部分は蒲郡市出身が良いのでは。
- 【委員】蒲郡市内出身者も含めて、蒲郡市内の方でいいと思う。
- 【委員】西浦に勤務している方や活動に関わっている方等、「西浦にゆかりのある方」とし、蒲郡市外在住であっても西浦のことを本当に考えている人の声を聞くのもいいのではないか。
- 【委員】表記について、英語やアルファベットなどは条件に入れるべきか。
- 【事務局】「校名候補選定の観点」が挙げられているので審査のときに決めればよい。発想は自由であっていいと思う。
- 【事務局】常用漢字以外になると非常に困ることがある。また、誤読しやすいものは控えてほしい。
- 【委員】選定方法について、注意事項の欄に、必ずしも多数の応募が選定されるわけではないという注意書きを入れていただくことは結構ある。
- 【委員】選定の流れについて明文化するかどうか。
- 【委員】選定の実質的な決定機関は誰か。
- 【事務局】開校準備委員会で最終的な案を出し、教育委員会を経て最終的には議会で承認を得る。プロセス上、教育委員会が開校準備委員会の選定案に意見を言うこともできるが、開校準備委員会で頑張っている校名を選んでいきたい。
- 【委員】校名を募集する名前の範囲はフルネームか。
- 【事務局】全国の義務教育学校には「〇〇小中学校」「〇〇館」「〇〇学舎」「〇〇義務教育学校」など様々あるので、例を挙げ、それを含めてというのが良いのではないか。
- 【委員】校名の決定時期について、令和6年6月市議会に間に合わせる必要があるか。
- 【事務局】学校名を決定しないと校歌や校章の作成など他のことが進まない。

(3) グランドデザインについて（小中連絡会）

グランドデザインについては、資料5をご覧ください。義務教育学校の教育目標や、目指す子供の姿、どのような教育をしていくという大枠になる。

学校運営協議会で、大元の願いや思いになる「どんな子供達を育てていきたいか」という熟議を行った。地域の方と教職員からそれぞれ意見を出していただいた。(2)で昨年までに学校運営協議会で出された意見をもとに新しい学校のグランドデザインを考えていく。工程表にあるとおり、小中の教職員から、校長が素案を作り、教職員の願いを載せつつ、学校運営協議会の委員の方に見てもらい、

教育方針を決めていく。

ランドデザインは学校を表す「どんな子供達を育てていくか」前面に出る大事なものである。どんな教育や授業、生活を行う学校にしていくか、各部会はランドデザインに寄り掛かったものを検討していくので、かなり重要なものと認識している。ランドデザインがある程度固まったところで開校準備委員会でも情報共有し、同じ方向を向いて進んでいきたい。

(委員からの意見、質問等)

なし

(4) 施設備品の検討計画について

施設について、7月23日現在の配置図を配布した。今後変更することが見込まれるのでご理解いただきたい。

今の西浦小の運動場に校舎を作り、今の校舎があるところがグラウンドとなる。来年の7月頃から工事開始、令和8年2月に新しい校舎が建て終わり、引越しを経て令和8年4月に開校予定であるが、その段階では古い校舎が建ったままで運動場が無い状況である。その後、古い校舎を壊して運動場に整備する工事が始まり、令和9年の秋口に工事が終了する予定である。最終的な形になるまで時間がかかる。

建物については、大きく公民館側と学校側に分かれるが、一体的に運用していく予定である。公民館側に図書館があり、地域の方も子供達も一緒になって使っていく。

一番の特徴は小学校、中学校、公民館、児童クラブも一緒に使う複合施設であるので施設を共有することによって学校の中でも地域の方が参加しやすいような、いろいろな取組を計画していきたい。

備品については、小中学校の教職員が校内で点検しており、それを踏まえて来年度の8月末頃までに各教科でどんな備品がいくつ必要でどれだけ不足しているか、また、前回の準備委員会でも意見をいただいた、新しい教育を計画する中でどんな備品が欲しいかピックアップして小中学校の教科担当同士で話し合っ

て検討していただきたい。

(委員からの意見、質問等)

【委員】新しい学校においてプールはあるのか。

【事務局】市全体で学校プールの在り方について検討し、今年4月に提示した。

これまでは各学校にプールがあったが、市内で3か所拠点を確保できれば授業が行えると考えている。そのため今回の西浦複合施設ではプ

ールを作る予定が無い。

(5) 地域説明会について (小島)

10月1日、15時45分から1時間程度西浦公民館において地域説明会を開催する。13時30分から15時30分まで合築ワークショップの後である。

義務教育学校について、教育委員会から経緯や内容について、小澤校長からどのような学校にしていきたいか、事務局から概要やスケジュールについて説明する。

事前申込みは不要である。

3 その他

(1) 次回開催日について

第3回以降は、平日日中の開催を考えている。1月までは奇数月の月末週を計画している。出席可能な日を連絡いただきたい。

(2) 連絡事項

特になし